エクステリア防犯ライト

EL-1000S 取扱説明書

販売店様・工事店様へ
取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

■特長

・高輝度LEDによる省エネ照明
照明には全て長寿命、省電力の高輝度LEDを使用しており、従来の照明器具より省エネで経済的です。

・センサ検知で主照明が点灯
人を検知すると足元を明るく照らします。

・常夜灯で周囲を演出
検知エリアに人がいない時も常夜灯が白く浮かび上がり、壁面を演出します。

・光と音で侵入者を威嚇
防犯モードにセットするとLEDによる赤、白の点滅とブザー音で侵入者を威嚇します。

■安全にお使いになるための注意

・取り付ける前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

・お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

・この製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないでください。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

はじめに

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

このような絵表示は、禁止を意味しています。

このような絵表示は、強制（必ずしていただくこと）を意味しています。

安全にお使いいただくために

警告

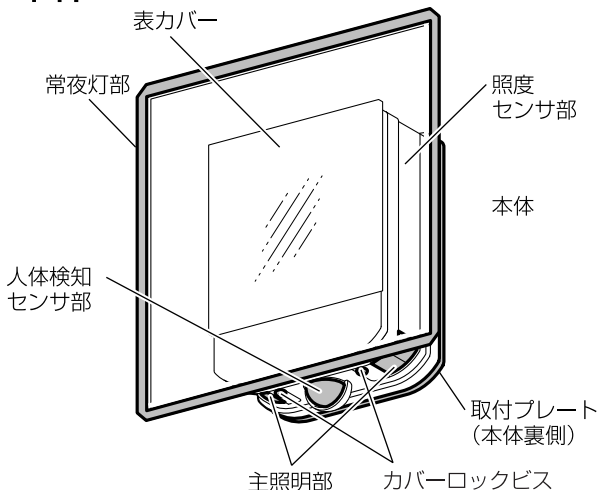
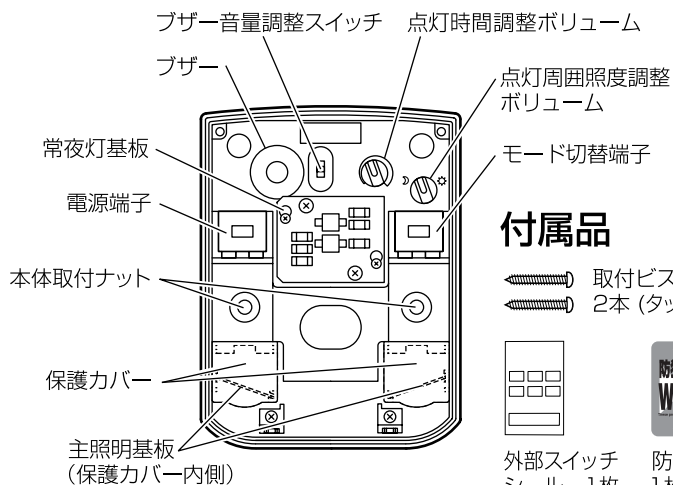
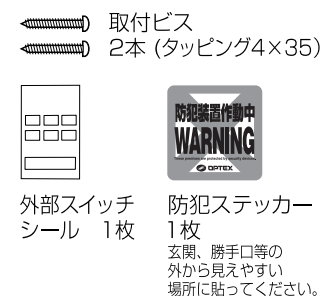
- 取付け工事、100Vの配線工事は必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。
  一般の方の工事は法律で禁止されています。
- 取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行なってください。
  火災、感電、器具落下によるけがのおそれがあります。
- 器具の改造は行なわないでください。火災、感電、器具落下によるけがのおそれがあります。
- 配線施工、保守点検、部品交換の際には電源を切ってから行なってください。感電のおそれがあります。
- 濡れた手で施工作業を行なわないでください。感電のおそれがあります。
- 布や紙などの燃えやすいものをかぶせないでください。火災のおそれがあります。
- 水中や湿気の多い浴室などで使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。

注意

- 電源電圧が製品の定格電圧と一致していることを確認して施工してください。
  誤った電源電圧で使用すると火災、感電のおそれがあります。また低い電圧の場合、LEDが点灯しないことがあります。
- 施工、保守点検、部品交換の際には手袋等の保護具を着用してください。特に取付プレートの切断面はシャープエッジになっておりご注意願います。
- 保守点検、部品交換の際には電源を切ってから製品が充分に冷えるまで待ってください。
  点灯中の製品表面及び内部は高温になっていますのでやけどのおそれがあります。
- 製品が汚れた場合は、中性洗剤を含んだ柔らかい布でふき取ってください。
  シンナー、ベンジン等の化学薬品は製品の表面を傷めるおそれがあります。
- ぶら下がったり無理な力をかけないでください。器具落下によるけがのおそれがあります。
- 製品の近くでLEDの光を直視しないでください。強い光による目の障害の原因となります。
- 製品の表面を直接素手や汚れた手袋で触れないでください。製品表面の傷や汚れ、錆の原因となります。
- 照明制御器、明暗スイッチなどとの併用はしないでください。機器の故障の原因となります。
- 本機器は水が侵入しにくい構造になっていますがホースなどで故意に水をかけないでください。また台風などの暴風雨の際には直接風雨が当たらないように注意してください。器具落下、故障の原因となります。
- 同一型番でもLEDの明るさ、色にはばらつきがありますのでご了承ください。

1 お使いになる前に

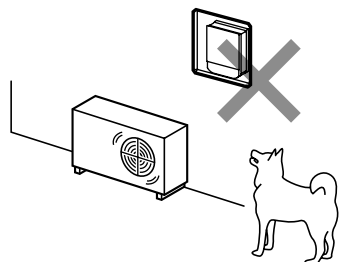
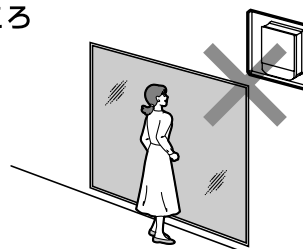
各部の名称と付属品

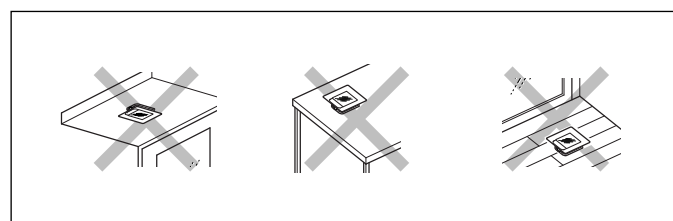
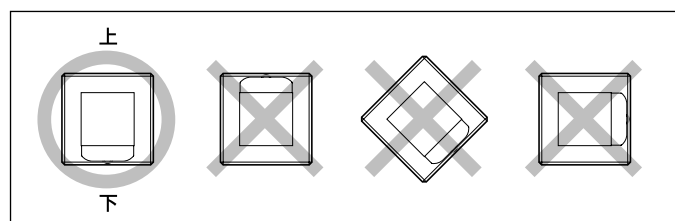
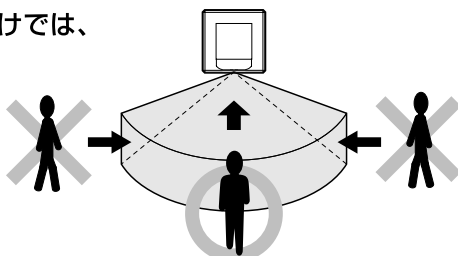
お使いになる前に、本体と付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。

取り付けに関するご注意

安全かつ最適にご使用いただくために次の点に注意して取り付けてください。

次のような場所には取り付けないでください。
機器の破損や正しく動作しないおそれがあります。

・エアコン室外機の
吹き出し口や
排気口付近

・検知エリア内を
犬や猫などが
通る場所

・前面に障害物があるところ
（ガラス越しでは
検知しません）

本製品を設置する際には正しい向きに設置してください。
逆さま、横向き、斜め向きには設置しないで下さい。
機器の破損の原因になります。

本製品を天井面や床面、据え置きの状態に設置しないでください。
火災、感電、機器落下によるけがのおそれがあります。

センサ部に向かって進むように設置してください。

2 本体を設置する

警告

布や紙などの燃えやすいものをかぶせないでください。
火災のおそれがあります。

LEDランプ付近は高温になります。
照明を交換するときは必ず電源を切断した後、内部が冷めていることを確認してから作業してください。
火傷の原因になります。

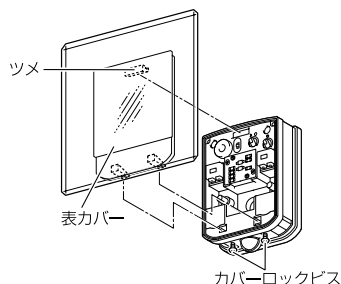
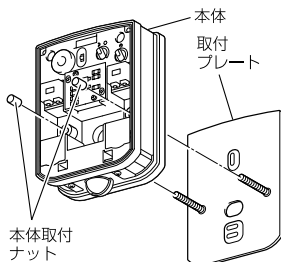
濡れた手で施工作業を行なわないでください。感電のおそれがあります。

注意

電源電圧が製品の定格電圧と一致していることを確認して施工してください。
誤った電源電圧で使用すると火災、感電のおそれがあります。また低い電圧の場合、LEDが点灯しないことがあります。

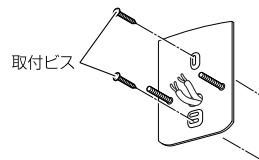
製品の表面を直接素手や汚れた手袋で触れないでください。
製品表面の傷や汚れ、錆の原因となります。

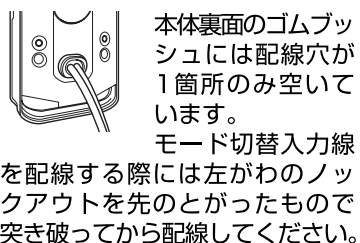
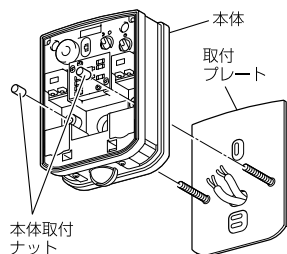
本体の取付方法

1 カバーロックビス（左右2箇所）をゆるめて表カバーを取り外します。

2 本体取付ナット（2箇所）をはずして、本体と取付プレートをはずします。

3 電源線とモード切替入力線を中央の穴に通してから、取付プレートを付属の取付ビスで壁面に取り付けます。
取付の際には地面から1.8m～2.1mの高さに設置してください。

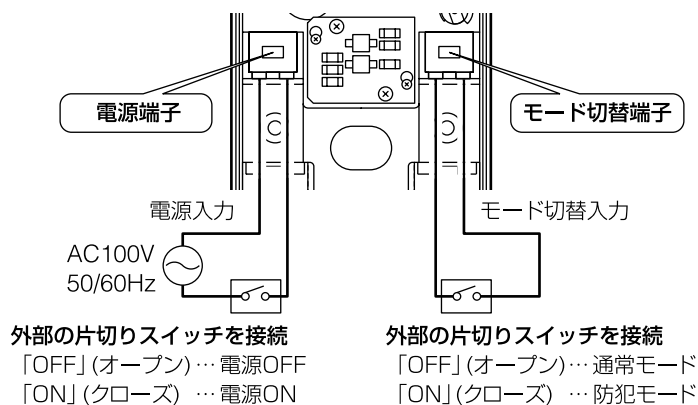
施工の際には必ず電源を切ってから行なってください。

コンクリート壁、ベニア板、モルタルなどにに取り付ける場合は、別途市販ビスとスリーブをお買い求めください。

取付ビスと本体取付ナットは確実に締め付けてください。

4 電源線とモード切替入力線を本体裏面のゴムブッシュの穴に通した後、取付プレートのネジに本体を合わせてはめ込み、本体取付ナット（2個）を締め付けて固定します。

本体裏面のゴムブッシュには配線穴が1箇所のみ空いています。
モード切替入力線を配線する際には左がわのノックアウトを先のとがったもので突き破ってから配線してください。

5 本体中央の配線穴から電源線及びモード切替入力線を引き出し、図のように配線します。

外部の片切りスイッチを接続
「OFF」(オープン)…電源OFF
「ON」(クローズ) …電源ON

外部の片切りスイッチを接続
「OFF」(オープン)…通常モード
「ON」(クローズ) …防犯モード

適合電線　：VVF φ1.6、φ2.0単線
線材の加工　：先端の外皮を14mm剥く
配線の外し方：マイナスドライバーなどで端子上面の解除穴を押しながら配線を引き抜く。

電源入力は左側の端子、モード切替入力は右側の端子です。
間違わないようにご注意ください。

外部の片切りスイッチは本商品に付属していません。必ず市販のスイッチをご用意願います。

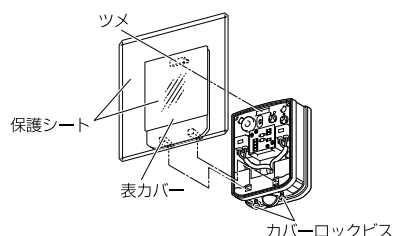
低電圧スイッチは使用しないでください。
必ずAC100V用のスイッチを使用してください。

モード切替入力用にホタルスイッチやパイロットスイッチは使用しないでください。

モード切替端子の上に貼っている注意銘板は施工終了時に剥がしてください。

6 点灯する周囲照度及び点灯時間を設定します。

P6「点灯周囲照度の設定」、「点灯時間の設定」にそって各ボリュームの調整を行ないます。

7 表カバーのツメを本体に引っかけてカバーをかぶせます。次に、カバーロックビス(左右2箇所)を締め付けて固定します。また表カバーのアクリルプレート及び金属板に貼られた保護シートを剥がしてください。

表カバーを取り付けた後で、本体とカバーとの間に隙間が生じないようにしっかりと押さえてください。

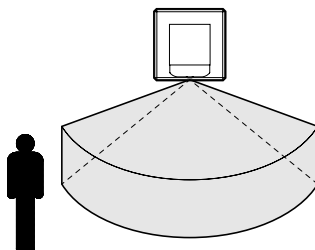
動作確認

取付終了後、下記の手順で確認と調整を行なってください。

1 点灯時間調整ボリュームを左いっぱいに回します。(テストの位置)

点灯照度調整ボリュームを右いっぱいに回します。(昼夜とも点灯)

2 電源投入後、ウォームアップ(初期安定動作)が終わるまで、約30秒待ちます。

この間は、検知エリアから離れてお待ちください。

3 ウォームアップ終了後、検知エリア内に入るように前後に歩き、照明を点灯させて最適な検知エリアになるように、センサの検知範囲を調整します。(調整方法はP5「設定・調整」を参照してください。)

4 点灯時間と点灯照度をお好みに応じて設定してください。(設定方法はP6「点灯周囲照度の設定」、「点灯時間の設定」を参照してください。)

ウォームアップ(初期安定動作)について

電源を投入したときは、人体の検知にかかわらず照明が点灯することがあります。

これは、センサが安定するまでの初期動作で、故障ではありません。

点灯時間を最長(約3分)に設定したときは、約3分間照明が点灯します。

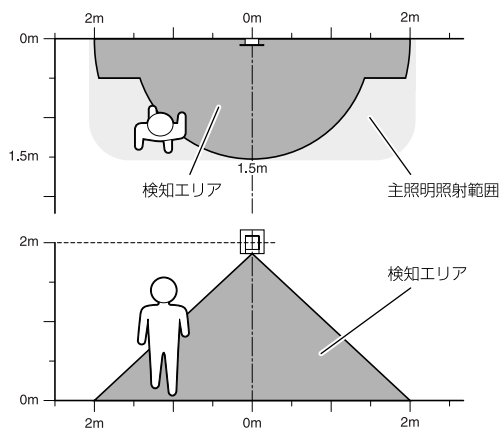
設定・調整

検知エリア(センサが検知する範囲)の設定

検知エリアは、周囲の温度や季節によって多少変化します。また、検知エリアに入る速度や方向によっては、間近まで近づかないと検知しないことがありますので、注意してください。

下の主照明照射範囲は足元が確認できる程度の範囲です。

検知エリアの調整

回す

マスキングリング

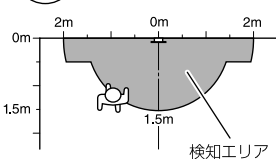
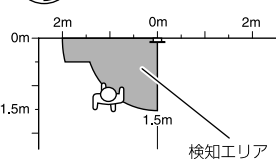
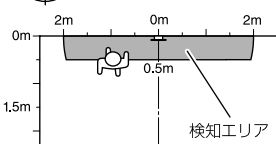
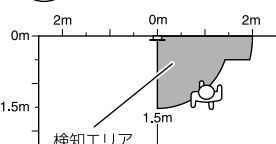
人体検知センサ部の周囲にあるマスキングリングを回すとセンサ検知範囲を調整できます。

マスキングなし

右側を消去

中央を消去

左側を消去

2m 0m 2m 0m 1.5m 1.5m 0.5m 検知エリア

点灯周囲照度の設定

昼間など周囲が明るいときは、検知エリアに人が入っても照明を点灯しないように設定できます。

◆点灯周囲照度調整ボリュームを左右に回して設定します。

点灯周囲照度

左に回す
周囲が暗く
なってから点灯
させたいときは、
左に回します。

右に回す
周囲の明るさに
関係なく点灯
させたいときは、
右に回します。

・主照明と常夜灯の点灯する周囲照度が設定できます。
（主照明と常夜灯の点灯周囲照度を別々に設定することはできません。）

点灯時間の設定

人が検知エリアから出て消灯するまでの時間を設定できます。
（約3秒（テスト）から約3分までの範囲で設定できます。）

◆点灯時間調整ボリュームを左右に回して設定します。

左に回す
点灯時間を
短くする。
最短約3秒。

右に回す
点灯時間を
長くする。
最長約3分。

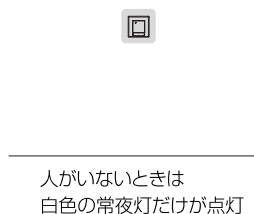
・「テスト」の位置は動作確認専用の位置（3秒）です。通常は「テスト」の位置よりも長い時間に設定してください。
（テストの位置よりも長い時間は最短で約20秒となります。）
・常夜灯の点灯時間は調整できません。

通常モードと防犯モード

通常モード、防犯モードでは人を検知すると下のような動作になります。

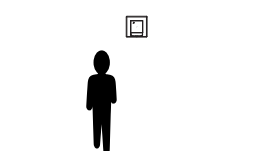
通常モード

外部のモード切替用片切りスイッチ・・・「OFF」にする ※点灯する周囲の明るさは点灯周囲調整ボリュームの位置により変化します。

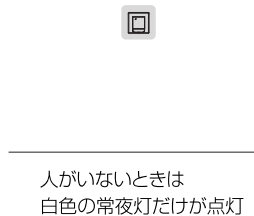
周囲が暗いとき

人がいないときは
白色の常夜灯だけが点灯

人を検知すると常夜灯と
白色の主照明が点灯

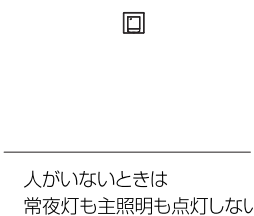
周囲が明るいとき

人の検知にかかわらず常夜灯と主照明は点灯しない

防犯モード

外部のモード切替用片切りスイッチ・・・「ON」にする ※防犯モード中は周囲の明るさに関係なく威嚇動作を行ないます。

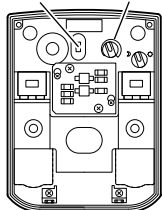
周囲が暗いとき

人がいないときは
白色の常夜灯だけが点灯

人の滞留を検知すると
常夜灯が赤色に変わり、
ブザー音と点滅光で侵入者を威嚇

周囲が明るいとき

人がいないときは
常夜灯も主照明も点灯しない

人の滞留を検知すると
常夜灯が赤色に変わり、
ブザー音と点滅光で侵入者を威嚇

・周囲が暗いときは威嚇動作を行なう前に一時的に白色の主照明が点灯することがあります。

防犯モード時の設定

1 表カバーをはずしてブザー音量調整スイッチでブザーの音量を調整します。
音量は「大・小・切」の3段階で調整できます。

※音量が「大、小」になっていても通常モード時にはブザーは鳴りません。

※ブザーの鳴る時間は約15秒固定です。

2 威嚇動作時の常夜灯と主照明の点滅時間は点灯時間調整ボリューム（約3秒〜約3分）で設定できます。

※点灯時間の約3秒はテストの位置です。通常はテストの位置よりも長い時間に設定してください。

※ここで設定した時間は通常モード時の点灯時間にも適用されます。

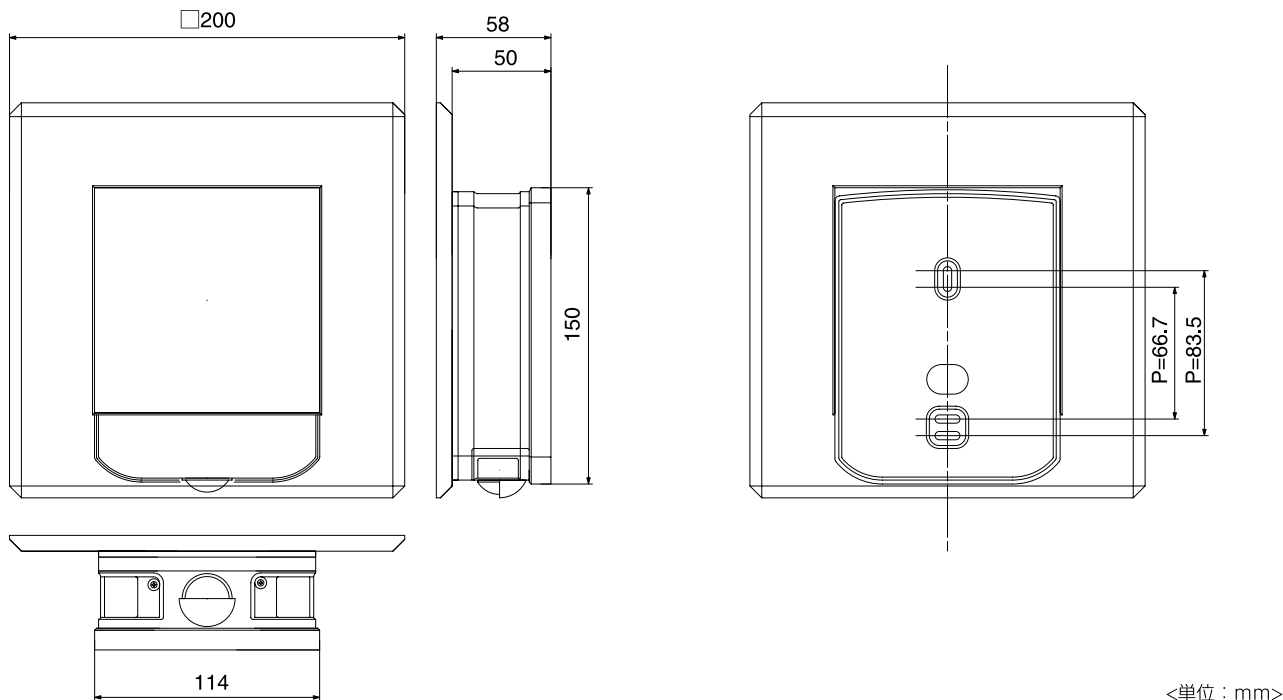
3 「故障かな…」と思ったら

症 状	原 因	対 策
人がいるのに点灯しない	配線が正しくない。	配線を点検してください。
	検知エリアの設定が適切でない。	取付場所を変更するか、検知エリアの調整をやり直してください。（P5「検知エリアの調整」参照）
	センサに対し、人が横から近づくように設置している。	人がセンサに対し横から近づくように設置すると検知しにくい場合があります。出来るだけ正面から近づくような検知エリアになるよう設置してください。
	気温と人の温度差が少ない。	センサは人と背景との温度差を検知するため、温度差が少ないと検知しにくい場合があります。
	検知エリアの前にガラスや壁などの遮蔽物がある。	センサの前にガラスや壁などの遮蔽物があると、人の動きを検知できません。検知範囲の調整または取付場所を変更してください。
	点灯照度設定ボリュームの設定が左いっぱいに設定されている、もしくは周囲が明るい。	左いっぱいに設定すると、周囲が明るいと点灯しません。点灯照度ボリュームを調整し、周囲が暗くなってから確認してください。（P6「点灯周囲照度の設定」参照）
	設置高さが低すぎる、または高すぎる。	地面からの設置高さを1.8～2.1m以内にしてください。
	電源スイッチがOFFになっている。	外部に設置されている電源スイッチをONにしてください。
	LEDライトが切れている。	販売店または弊社へご連絡ください。
人がいるのに消灯する	検知エリア内で人が静止している。	静止している人を検知できません。
	検知エリア内に人が入っていない。	検知エリアを調整してください。（P5「検知エリア（センサが検知する範囲）の設定」参照）
	点灯時間の設定が短い。	点灯時間調整ボリュームを右方向に回してください。（P6「点灯時間の設定」参照）
人がいないのに消灯しない	ウォームアップ時間中である。	電源投入後、ウォームアップが働きしばらく主照明が点灯します。ウォームアップが終了するまで、エリアの外で待機してください。
	点灯時間の設定が長い。	点灯時間調整ボリュームを左方向に回してください。（P6「点灯時間の設定」参照）
	検知エリア内に人がいる。	検知エリアから離れてください。離れてから点灯時間調整ボリュームで設定した時間後に消灯します。
人がいないのに点灯する	検知エリア内、またはその周囲に誤動作起こす要因がある。 誤動作要因の例） 他の照明器具、植木、洗濯物、道路の車、犬や猫、エアコンの吹き出し口、給湯器、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知エリアから取り除くか、再度検知エリアの調整をやり直してください。（P5「検知エリア（センサが検知する範囲）の設定」参照）
	常夜灯が点灯している。	故障ではありません。常夜灯は点灯周囲照度調整ボリュームの設定により周囲の明るさに応じて点灯します。

上記の対応をしても症状が改善しない場合は、販売店または弊社へご連絡ください。

4 仕　様

■外形寸法図

<単位：mm>

■仕　様

名 称	エクステリア防犯ライト
型 式	EL-1000S
検知方式	熱線（パッシブインフラレッド）方式
定格電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	10W以下
昼夜判別機能	約10～∞lx（内部ボリュームにより可変）
点灯時間	約3秒～約3分（内部ボリュームにより可変）
点灯モード	通常モード・防犯モード（外部スイッチにより切り替え）

ブザー音量	大/小/切（内部スイッチにより切り替え）
設置場所	屋外
使用温度範囲	−10～＋50℃
使用光源	常夜灯　白色LED、赤色LED（威嚇動作時） 主照明　白色LED
質量(付属品除く)	約900g
付属品	取付ビス：2本(タッピング4×35) 外部スイッチシール：1枚 防犯ステッカー：1枚

※仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

EL-1000S 保証書

お買い上げ日		年　月　日
保 証 期 間		**お買い上げ日より１年間**
お買上げ店	住　所	〒　TEL.
	ご氏名	
お客様	ご住所	〒　TEL.
	店　名	様

・太字枠内はお買上げ時に必ず記入を受けて下さい。
・記入なき場合、本書は無効となります。
・本書は大切に保管して下さい。再発行はいたしません。
・この保証書にご記入いただきました個人情報につきましては、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。

〈保証規定〉

I. 保証の範囲

1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2. この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。
This warranty is valid only for Japan.

II. 保証の条件

次に該当する故障は、保証期間中で(お買上げ日より１年間)であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

1. あやまった取り扱い、不当な修理·改造を受けた製品の損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による破傷。
3. 本書に必要事項の記入が無い場合、また本書と該当製品の提示が無い場合。

オプテックス株式会社

本　　社：〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL (077)579-8630　FAX (077)579-8170
東京営業所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル19F
TEL(03)3344-5775　FAX(03)3344-5734

お客様ご相談窓口　0120-077-920
(受付時間 9:00～17:00土日·祝日および当社休日を除く)
ホームページ　http://www.optex.co.jp

この印刷物は「大豆油インキ」と「再生紙」を使用しています。

05.10　5912780